

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポート・くすのきⅡ			
○保護者評価実施期間	令和7年11月17日		～	令和7年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和7年11月17日		～	令和7年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5(兼任者あり)	(回答者数)	5(兼任者あり)
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月1日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	隣接している保育園との連携ができており、園庭や遊具が使用できる。 保育園の行事にも参加することが可能であり、保育園の子ども達とも交流を図る機会を設けることができる。	保育園行事に積極的に参加する事で、保育園の子ども達と交流を図る機会を増やし、社会性を育めるよう取り組んでいる。	連携を深め、地域活動にも積極的に参加していき、地域との繋がりにについても学べるよう取り組んでいく。
2	隣接している保育園から安全な水、安心な食材を使用し、栄養もしっかりと管理された手作り給食とおやつを提供している。	偏食がある子どもに対しては、無理に食べさせることはせず、食べられる量を子ども自身が決め、少しずつ食べることができるようにしている。	園の所有する畑で取れた無農薬野菜を収穫したり、給食で使用する等食育にも力をいれていく。
3	大人が決めるのではなく、子ども達が意欲的・主体的に活動に参加することができるよう、子ども達の意見も取り入れながら活動を決めている。	子ども一人ひとりの気持ちや特性を把握し、できないことよりもできたこと、頑張った過程に目を向け、自己肯定感を高め意欲や自信に繋げている。	職員間で支援方法を共有し、子どもが達成感を味わえるよう今後も活動内容を工夫する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の関わりが少ない。	保護者が参加する行事がほとんどなかった。就学前の勉強会や年1～2回ほどの見学・体験会はあるが、保護者同士が関われる時間はない。	親子療育をはじめとして、保護者同士で気楽に話し、相談できるような茶話会や保護者会の開催を検討していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズサポート・くすのきⅡ

公表日 R8年 2月 25日

利用児童数

13

回収数 13 (19番以降無回答4件)

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13					活動内容により、使用する道具や遊具の配置等を工夫しながら、安全に配慮し、活動に取り組んでいます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	2		1	子どもそれぞれの発達、成長にもよると思っています。(その日の参加人数もわからないので)	定員10名/1日に対しては、2人以上の保育士又は児童指導員の配置が必要で、満たしています。 活動の内容や、参加人数によっては、主たる事業所のくすのきから職員に来てもらい、職員数を増やして支援を行う時もあります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1			外階段が急で(先生達も気を付けているとは思いますが)ハード面ではどうしようもない事もある。	外階段が急な為、階段を昇降する際は必ず職員が手を繋ぎ、手すりを握るよう声をかけ、安全に気をつけながら昇降しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13					毎日清掃、換気を行い、給食やおやつを食べる際は机の消毒を徹底している。加湿器や空気清浄機も設置しています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13					お子様の発達や課題、特徴に合わせて、活動内容の工程や、支援の方法を考え取り組んでいます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					R7、9月支援プログラムの公表をしましたので、ご確認ください。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	13					活動の様子や保護者との面談・相談内容、関連機関との情報共有からニーズや課題を把握し、支援計画を作成させていただいております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					支援計画は、利用開始時と、その後半年に1回(もしくは誕生日から半年に1回)作成しています。 お子様に合わせて、支援に必要な項目を選択し、支援内容を設定していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					今後も支援計画に沿って、お子様の興味や関心等にも配慮しながら支援を行っていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13					子ども達の課題に沿いながらも、子ども達の興味関心がある物や子ども達が提案してくれた活動、季節感がある物を活動に取り入れています。
保	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	1		1		保育園と合同の避難訓練や保育園主催の人形劇鑑賞に参加しています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					契約時、内容変更時にご説明させて頂いております。また、常時室内の入り口に提示しております。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					支援計画を示しながら、支援内容の詳細を説明させていただき、同意を頂いております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1				当事業所では家族支援プログラムは行っておりませんが、随時、保護者様からのご相談には応じています。保護者様の困りごとへの対処方法等と一緒に考え、お子様の成長を促していけるよう支援します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	1				連絡帳にて、その日のお子様の体調や食欲等の確認を行っています。また、アプリを使用し、提供記録にて、その日の活動の様子を、写真を添付してお伝えしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					送迎の際や、連絡帳、個別面談を通してお子様の状況を伝えあい、保護者様の困りごとへの対処法等と一緒に考えていきます。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13				今後とも、保護者様の不安を軽減し、子ども達の気持ちに寄り添いながら、成長を支えていけるよう務めていきたいと思っております。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	1	4	見学时以外ではあんまり保護者同士の交流の機会はないが、特に支障はない。 現在、父母の会や保護者会等の開催はありません。 今後、保護者同士の関わりができるよう、親子療育や保護者会等の開催を検討していきます。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					契約時に相談・苦情窓口のご説明をしています。 相談・苦情等を受けた際は、職員で話し合い迅速に対応するように務めていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					一人ひとりが自分の気持ちを我慢する事の無いよう、寄り添いながら話を聞いています。 保護者様にはアプリを使用し、活動の様子を、写真を添付してその日のうちにお伝えしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1				毎月「月だより」を配布し、1か月の活動内容の予定や、次月の行事予定をお伝えしています。 自己評価についてはホームページにて掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					個人情報の漏洩防止のため、事業所外への持ち出し禁止、鍵付きの棚での保管、ネットセキュリティ対策等は行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			1		各マニュアルは作成しており、一部は契約時に説明をさせていただき、室内入り口に一部を掲示しております。 発生を想定した訓練も状況に応じて行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9					月に1回程度、避難訓練（火事、地震、風水害等）を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9					安全を確保するための計画は1部、室内入り口に掲示しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9					怪我が発生した際は、怪我の大きさに関わらず、保護者に速やかに連絡するよう務め、発生した際の状況をお伝えしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9					今後ともお子様が安心して通所できるよう支援していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9					科学館に行く、恐竜展に行く、料理をする等、お友だちと行く機会があり、とても楽しそうにしています。 今後とも子ども達のやりたいことと興味関心を引き出しながら楽しく活動を行い、お子様の成長を促していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					言語聴覚士さんに支援をしていただきたいです。（以前、来所がなくなったので） 全ての方にご満足いただけるよう工夫して取り組んでいきます。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		キッズサポート・くすのきⅡ				公表日	R8年 2月 25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定期的に家具の配置を変え、スペースの見直しを行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	両側に手すりを設置している。子ども達が一人で昇り降りしないよう職員が手を繋ぐか、前後につくなど安全に配慮している。	階段が急で雨の日は滑りやすい。二階に事業所があるため、バリアフリー化は難しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		整理整頓に努めている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		いつでも相談できる雰囲気がある。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者評価は実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で会議を行い、計画を作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		季節に合った活動を取り入れている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			その日の子どもの様子や支援について共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			支援の記録を残し次につなげている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			6ヶ月ごとに行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) ..... 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) ..... 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			保育園の行事や子育てサロンに参加している。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		月だよりを毎月配布している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載されている書類等を廃棄する際は、必ずシュレッダーを使用している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			